

建築



みなさんは家や学校など多くの建物の中で生活していません。ではその建物はいつ誰がどうやって建てたのか考えてみたことはありますか。調べてみると面白い発見があるかもしれません。今月は建築をテーマに本を紹介します。

『法隆寺 世界最古の木造建築 普及版』

西岡常一、宮上茂隆/著 穂積和夫/イラストレーション 草思社 521



奈良にある法隆寺は厩戸皇子(聖徳太子)一族に縁のある建物で、約1300年前の飛鳥時代に建てられた世界最古の木造建築です。地震、落雷、火災を経ながらも、なぜ今も昔のままの姿で現存するのか。法隆寺の建築技術には、現代では真似出来ないような先人たちの知恵と工夫があったのです。

『紙の心』

エリーザ・プリチェッリ・グエッラ/作 長野徹/訳 岩波書店 973

ある研究所で暮らす少年と少女が図書室の本に手紙を挟んで文通を始めます。顔も名前もわからないまま手紙をやりとりするうちに、二人は互いに恋心をつのらせていきますが、それとともに研究所の隠された秘密が明らかになっていきます。全編が手紙の形式でつづられており、その手紙のやり取りの中で分かってくる建物の構造も物語に大きな影響を与えます。

こちらもおすすめ

『建築家になりたい君へ』

隈研吾/著
河出書房新社
520
#仕事 #行動力

『文豪の家 新装版』

高橋敏夫、田村景子/監修
エクスナレッジ
910
#旧居 #写真

『日本の不思議な建物101』

加藤純/著 傍島利浩/写真
エクスナレッジ
523
#建築物 #写真

本にまつわる記念日

9月18日は「**蘆花忌**」

明治から大正時代に多くの作品を発表した徳富蘆花(1868-1927)の命日です。著作には『自然と人生』『不如帰』などのベストセラーもあります。

徳富蘆花って誰?と思う人もいるかもしれませんが、字を「芦花」とすると区内にある「芦花公園」に思い当たるでしょうか。都立公園の蘆花恒春園は芦花公園とも呼ばれ、蘆花がロシアの文豪トルストイに影響を受けて、土と共に生きることを決意して移り住んだ土地に整備された公園です。園内には蘆花が住んだ住宅が今も保存されており、併設の記念館には蘆花の原稿や、世界中を旅した記念品などが展示されています。

参考: 公益財団法人東京都公園協会, 蘆花恒春園

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/rokakoshun-en/index.html> (参照日 2024.7.9)



お知らせ

●「マンガ総選挙」結果報告!!

1位「マッシュル」

2位「葬送のフリーレン」

3位「四月は君の嘘」



になりました。よって「マッシュル」を全巻図書館に揃える予定です。入ったらお知らせします!お楽しみに!

●夏休み特別貸出期間中に借りた本の返却期限は 9/6です。忘れずに返却してください。

開館カレンダー ★開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	★	★	★	★	★	★
8	9	10	11	12	13	14
	★	★	★	★	★	
15	16	17	18	19	20	21
		★	★	★	★	
22	23	24	25	26	27	28
		★	★	★	★	
29	30					
	★					



本の表紙画像は出版社から許諾を得られたものや、出版社または「版元ドットコム」のWebサイトで掲載可能であることを確認できたものを掲載しています。また、イラスト画像は制作者の利用規約を確認して使用しています。

2024.09Libnet